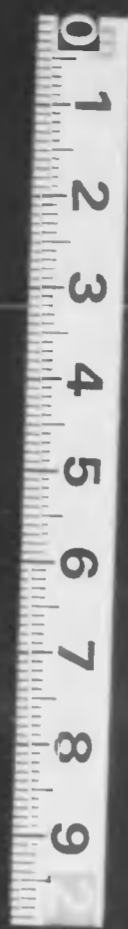


寫眞週報

編輯局報情

二十二月廿二日・第三二二號・十七



荒鷲たちは  
 凜烈たる高空の寒氣をついて  
 今日も爆撃行の操縦桿を握り  
 かじかんだ手に索敵行の電鍵をうつ  
 炭とぼしくとも  
 ストリーブ スチームはなくとも  
 何のこれしき——  
 われらまた赤々と戦意を燃やし  
 工具を、ペンを、鋏をしつかと握り  
 身に迫る決戦の冬のきびしさを  
 ガツと全身で受止めよう

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

長くも天寛並びに天寛の業には

第二次大東亞戦争海軍作戦記録畫



北 連 達 作

提 督 ノ 最 期



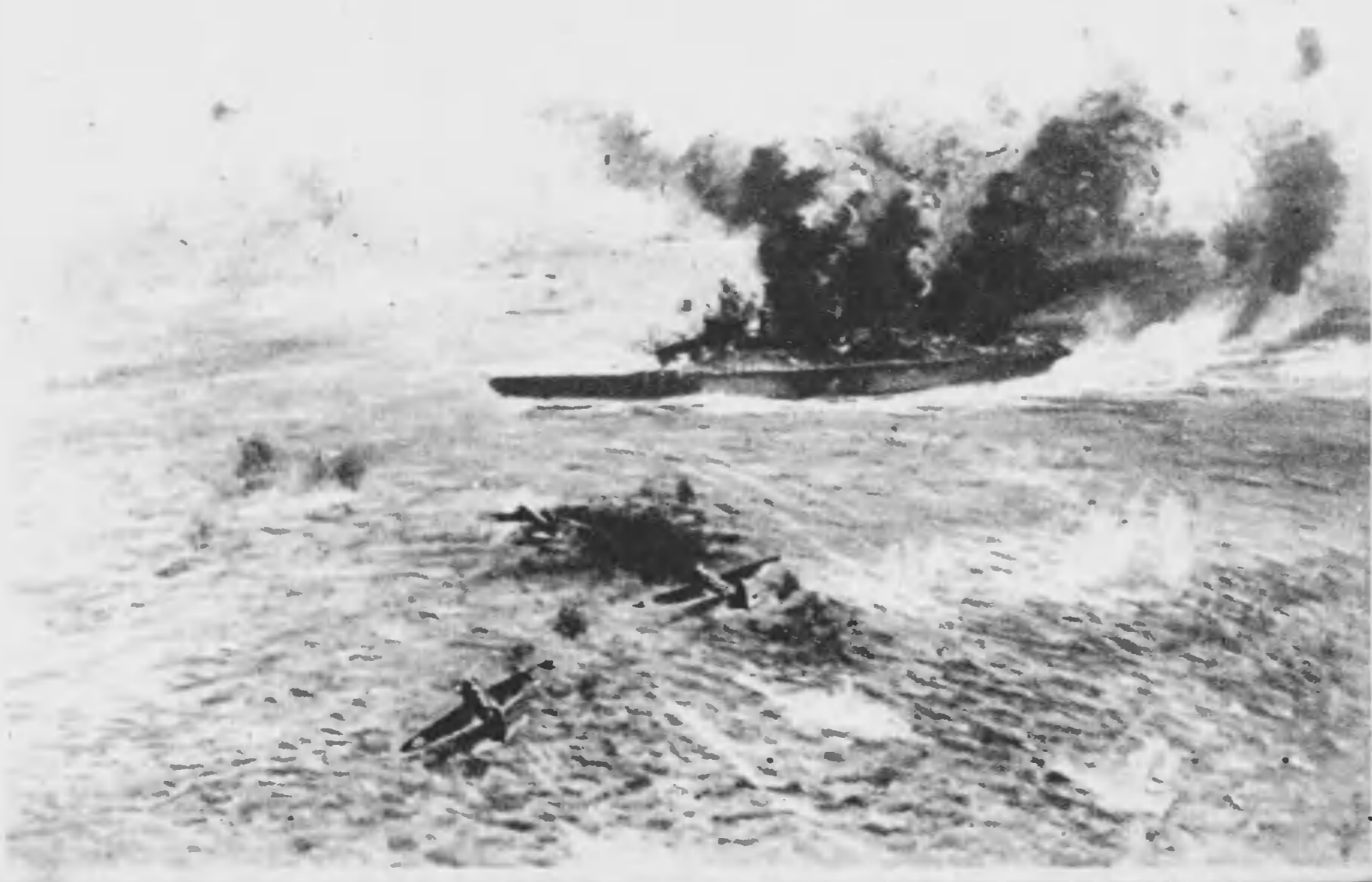
田 島 治 作

シ ン 洋 行 於 此 へ 兵 米 ノ 運 送



海軍密下本部隊「メナド」奇襲

宮本 三郎作



珊瑚海海戦

中村 研一作

長もく天覧並びに皇の榮にゆ

長くも 天皇、皇后兩陛下には、さる十二月五日、宮中において第二次大東亞戰爭海軍作戦記録畫  
合計二十點を、天覧並びに台覽あらせられ、洋上第一線に勇戦するわが海軍部隊の敢闘ぶりを親しく  
觀せられて、懐愉奇烈な決戦場裡を偲ばせ給ふたと拜承する  
あたかもこの日 天皇陛下には、また、第六次ブーゲンビル島沖航空戦の捷報至り、幕僚長より  
親しくその戦況を聞召され、殊のほか御満悦あらせられた御砌りとして、各記録畫には殊に御感深く御  
目をとめさせられたと承るは畏き極みである  
なほ天覧、台覽の榮にはゆる記録畫は、十二月八日より東京上野の都美術館で開催中の第二回大東  
亞戰爭美術展にも特別出陳されてゐる

「ルンガ」沖夜戦



清水 夏雄作

『ニューギニア』戦線（密林ノ死闘）



佐藤 敬作

駆潜艇ノ活躍



藤本 東一真作

聯合艦隊司令長官 海軍大將 山本五十六

横江 嘉純作  
(大東亞戰爭美術展)

# 敵重慶



敵の機先を制して我々  
出陣のわが隊の機先



敵を決して、敵の牙城に  
突入するわが勇士

# 軍徹底撃碎

支那派遣軍は全支にわたり、長遠な戦線を構成して、約三百万の重慶軍と約六十万の共産軍とに對し、絶えず好機を捕へて大小幾多の戦闘をつづけ、敵戦力の撃滅と、占領地域の治安確保とに邁進してゐる。以下、本年の大陸戦況の概要を述べる。

本年初頭決定された帝國の新しい對支方針の確立に伴ひ、重慶側の抗戦名目は完全に喪失し、その動搖が著しきものがあり、しかもわが作戦の進捗に應じて、于學忠軍、韓德勤軍及び王勁軍等、正規軍中、或は軍長以下師長を含む有力部隊の歸順があり、その他、投降、捕虜となる者も少なく、殊に北支唯一の蒋介石直系軍たる第二十四集團軍軍長であり、重慶の有力將領であつた龐炳勳將軍及び孫殿英將軍が部下七万餘を率ゐ、本年の四月、五月の候行はれた「十八春太行作戦」にわが軍に投降し來り、また魯南指揮部總指揮官于恒將軍が兵二万と共に、國民政府陣營に合體したことは、重慶軍内の空気の一端を示すものであり、また重慶の抗戦力低下を如實に示すものであつた。

支那派遣軍の行つた比較的大きな作戦としては次のやうなものがある。

二月 三月の候、蘇維埃地區に歸還する重慶第八十九軍及び共産第四軍に對し、國民政府軍協力の下に、その根據地を掃蕩し、占領地域内に對する敵の活動を完全した。蘇維埃作戦では、敵の遺棄死傷千八百、捕虜七千であつた。

また中支洞庭湖北方地區において江北挺進軍及び第百十八師並びに主動隊軍に對し行つた作戦は、非常有利に進捗し、敵を完全に捕虜に、これを殲滅することができた。この作戦では、戦果は敵の戦死八千、俘虜二万三千二百、火炮百二十四門であつた。

二月わが軍は廣州灣に進駐し、敵側の策謀の根元を抑へた。

北支方面においても、各地において掃蕩戦が行はれてゐるが、三月の候、魯中の山岳地帯に根據地を置く第百十三師及び龐文禮匪に對する作戦では、敵の師長以下幹部多数を捕虜とし、敵主力を粉砕してゐる。この作戦における戦果は、敵の戦死二千三百、捕虜千九百、北支における今年最大の作戦は、四月二十日から五月二十日の一ヶ月に亘つて行はれた「十八春太行作戦」である。これは敵中央軍第二十、四集團軍、共軍第八十八集團軍、劉伯承集團軍に對し行はれたもので、魯南北治安建設の一大障礙となつてゐた山西、河北、河南省境山岳地帯に蟄居してゐるこれらの敵を徹底的に掃蕩した作戦である。敵將龐炳勳以下七万がわが軍に降伏したことはさきに述べた通りである。



りである。この戦果、敵の戦死九千九百、俘虜一万五千九百。

中支においては、五月、六月の候、洞庭湖以西宜昌對岸に亘る長さ三百キロ、縱深百キロに亘る廣大な地域において、敵防衛の第一線たる第六戰區に對し夏季進攻作戦が敢行され、敵三万六千を殲滅し、同七、北支においては南部太行時に揚子江上流を掃蕩して、宜昌山脈における華北唯一の蒋介石系第一地區で未だ敵一万余を擁する。前線捕虜（二）を下支へ向新した。今、敵首を失ひ、四千八百名から大して、この夏季進攻作戦で、敵軍を掃蕩して歩武堂々、峻嶒を征くわが精銳部隊

## 大東亞戦争日誌

- 十一月
- 二十七日 ●帝國海軍航空隊は二十七日夜刻キルバート諸島西方海面において更に突襲し來れる敵機動部隊を攻撃せり。
  - (一) 敵二機へたる損害
  - (二) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (三) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (四) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (五) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (六) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (七) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (八) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (九) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十一) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十二) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十三) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十四) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十五) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十六) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十七) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十八) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (十九) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十一) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十二) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十三) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十四) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十五) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十六) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十七) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十八) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (二十九) 敵一機母艦 二隻より大損害
  - (三十) 敵一機母艦 二隻より大損害

の捕虜を出し、事實上、敵側の軍勢を大に打撃を受けた。九月には油頭、固原、作事が行はれ、敵一千を斃してゐる。九月中旬より十月下旬に亘り晋冀察遼寧の中心をなす共産黨西軍を徹底的に掃蕩すべく開始された。本件は、北平太行山脈の峻険を物ともせず、廣範にわたつて積極活潑に實施されたが、わが方の果敢たる猛攻に、敵の諸施設は全く破壊され、共産軍の戦力は根柢から潰滅した。

を得てゐる。我が方も七百三十八名の俘虜人を出してゐる。敵は現に支那大陸各地に展開してゐる。以上、現に支那大陸各地に展開してゐる。我が方も七百三十八名の俘虜人を出してゐる。敵は現に支那大陸各地に展開してゐる。



その他、北支軍は九月以来、華北全域にわたる討伐、正作戦を積極的に行つて、十一月三十日までには敵二万五千を斃し、俘虜一萬九千を捉へ、第六戰區を掃蕩し、潰滅せしめ、常務附近の軍事基地は徹底的に潰滅した。

在支米空軍 米空軍は、敵米英の対日進軍の脅威を察し、支那の治安を確保してゐる。我が方も七百三十八名の俘虜人を出してゐる。敵は現に支那大陸各地に展開してゐる。

大東亞戦争二年ケ年

| 注    | 米軍 (總計二七六、八〇五) |       | 英軍 (總計二二二、四四一) |        | 合計     |
|------|----------------|-------|----------------|--------|--------|
|      | 戦死             | 行方不明  | 戦死             | 行方不明   |        |
| 比島   | 600            | 1,100 | 1,000          | 1,000  | 3,700  |
| ブタナ  | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| サラモア | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| トロキナ | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| 他    | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| 計    | 600            | 5,200 | 5,000          | 5,000  | 20,800 |
| 合計   | 1,300          | 8,300 | 11,000         | 11,000 | 33,600 |

大東亞戦争の歴史的背景は、米英の半植民地的存在の現存にある。我が方も七百三十八名の俘虜人を出してゐる。敵は現に支那大陸各地に展開してゐる。

敵米英軍との間に與人の損害

| 注    | 米軍 (總計二七六、八〇五) |       | 英軍 (總計二二二、四四一) |        | 合計     |
|------|----------------|-------|----------------|--------|--------|
|      | 戦死             | 行方不明  | 戦死             | 行方不明   |        |
| 比島   | 600            | 1,100 | 1,000          | 1,000  | 3,700  |
| ブタナ  | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| サラモア | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| トロキナ | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| 他    | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| 計    | 600            | 5,200 | 5,000          | 5,000  | 20,800 |
| 合計   | 1,300          | 8,300 | 11,000         | 11,000 | 33,600 |

我が方も七百三十八名の俘虜人を出してゐる。敵は現に支那大陸各地に展開してゐる。敵米英軍との間に與人の損害は、戦死と行方不明の合計で、米軍は八千三百、英軍は一万七千に達している。

敵米英艦船関係人員の損害推定

| 注    | 米軍 (總計二七六、八〇五) |       | 英軍 (總計二二二、四四一) |        | 合計     |
|------|----------------|-------|----------------|--------|--------|
|      | 戦死             | 行方不明  | 戦死             | 行方不明   |        |
| 比島   | 600            | 1,100 | 1,000          | 1,000  | 3,700  |
| ブタナ  | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| サラモア | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| トロキナ | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| 他    | 100            | 1,000 | 1,000          | 1,000  | 3,100  |
| 計    | 600            | 5,200 | 5,000          | 5,000  | 20,800 |
| 合計   | 1,300          | 8,300 | 11,000         | 11,000 | 33,600 |

我が方も七百三十八名の俘虜人を出してゐる。敵は現に支那大陸各地に展開してゐる。敵米英艦船関係人員の損害推定は、戦死と行方不明の合計で、米軍は八千三百、英軍は一万七千に達している。

- 一、十二月一日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン
- 二、十二月二日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン
- 三、十二月三日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン
- 四、十二月四日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン
- 五、十二月五日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン
- 六、十二月六日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン
- 七、十二月七日、我が方の損害：
  - (一) 敵の艦隊：一隻
  - (二) 敵の兵士：約五十名
  - (三) 敵の物資：約十トン

# 新しい年は勝ちぬく年

一月の常會

## 必勝の作戦計画を實行へ

戦ひのうちに三たび新年を迎へることとなりました。さて、この新しい年はどんな形で迎へることになりませうか。まづ、想像される本年の敵反攻の双は、ニューブリテンへ、ニューギニアその他のわが占領地域へ、ギルバート方面から内南洋へ、つひは一氣にわが本土爆撃にと、いづれにせよ昨年と比較してさらに一層鋭いものがあると思はれます。しかしながら、敵が如何に総反攻を呼ばせよう、我は斷乎、これらの反攻意圖を撃退し、さらに進んで敵を徹底撃滅するのみです。どんな

## 率先女挺身隊参加の

指揮官機を先頭に、雲霞のやうに押寄せ敵機群へ突込み、或いは敵艦隊に敢然と突撃する荒鷲を思へば、私たちが戦場に働くものは、燃れても止まぬ氣持で一杯です。もとより女と生れた悲しさは、決戦場へ立てませんが、せめて一機でも多く送り出し、勇士の方々に思ふ存分の働きをして戦うと必死になつてをります。たゞ私たちにとつて氣がよりなのは後援部隊です。先日新聞で見ますと、こんどの女學校卒業生には上級學校に進學希望者のみ多く、女子挺身隊に参加を希望する人が案外に少いとかいふこと



敵をうちぬくこの部品——仕上げまでの時間さへもどかく女子工員はじつと見入る



## 兵器の増産に挺身しよう

ガダルカナルからブーゲンビルにかけて、或はミッドウェイ諸島へと敵の繰返す反攻作戦の執場は、常々我々の敵の傲慢極まる挑戦であり、その態度が勇猛な将兵の善戦勇戦の前に完膚なきまでにたゞきつぶされてはゐるが、目的の一部分は必ず達してゐるのです。この前線將兵を切齒扼腕させる一部分こそは敵の狙ふ量によるものといつてもよいのです。常にわれに數倍、十數倍する敵勢を撃退し、あの大戦果をあげてくれた荒鷲達が、なほ一機あれば止めの一撃を、撃破した敵艦上に切齒したことがなかつたでせうか、まづ飛行機を、そして、量には量をもつて當るのみです。これこそわれら國民に課せられた責任であり、世間の急務なのです。資材も工場も準備は出来てゐます。二十四時間ぶつ通しの生産も開始されようとしてゐます。必要なのは人手です。飛行機工場は新鋭部



## 食糧は絶対自給自足だ

今年の食糧事情を見越して、昨年二回にわたつて緊急食糧増産対策がたてられました。これはいろいろの困難を克服してせつせつと實行にうつされてゐますが、まだく目標には遠いのです。この際、米麥三百六十方石の大増産を目ざす土地改良は何としてでもやりとげませう。農村の人々の死守すべき第一線がそこにあるのです。

土地改良の詳細については週報十一月二十四日號を参照下さい。本誌も来る一月十二日號で詳しく解説を試みる予定です。

## 都市疎開に協力しよう

敵の反攻作戦から考へても、戦局の動きからみても、本年こそは敵艦の本土空襲に重要な都市に對する空襲は必至の情勢にあると思はれます。そこでこれに對しては、國民一億が決死の覺悟をもつて國土を守りぬくといふ固い決意で、防空活動に従事しなければならぬことはいふまでもないのですが、一方、爆撃目標となる主要

都市を防空都市としてつくり直し、武装強化してゆかなければなりません。ことに最近のハンブルグ、ベルリン等の大空襲にみられるやうに、飛行機、爆撃機の性能の向上したこと、空襲方法が大規模化し徹底したことなどから考へて、いよくこの必要さと緊急さが増してきたわけで、これに對する具體的な方法として、都市疎開を早急に實行する必要が生じてきたのです。

この實施については、いま種々の對策や方法が講ぜられてゐますから、新年早々にほとんどの實行されてゆくことになつてゐますが、そのためには何といつても全國國民の協力が必要であり、これがなくてはとていふような實施は出来ないので、ここで、われわれがどんな態度で、どういふやうに協力しなければならぬかといふことも、この常會で積極的に協議、實行していただきたい。以下、參考として疎開の方法等を簡単に解説してみませう。

## 疎開はどんな方法で またどんな効果があるか

都市疎開といふのは、要するに防空都市を作るためといふことは前にも書きました。が、では、そのためにはどんな方法があるかといふと、まづ空地を多くすること、都市の多過ぎる人口を削減すること、この二つです。これまでも極力やられてきたのですが、これは都市がこれ以上大きくなることを許さずといふだけで、積極的に空地をつくつて空地と建物をまはらにし、空襲の被害を出来るだけ少くしようといふところまで進んでゐなかつたのです。そこでこれをいま一層積極的に行つて、現在在る建物をとりぞき、集中されてゐた人口を地方へ移して、疎開した形によ

## どんな都市やどんな人たちが疎開することになるか

では、どういふ地方が疎開されるかといふと、京濱、阪神、名古屋、北九州の四地域にある重要都市で、京濱では、東京都の區部、横濱市、市、神戸市、名古屋地域では、名古屋市、北九州地域では、門司市、小倉市、戸畑市、若松市、八幡市等が先づとり上げられてゐますが、この區域外でも、これにくつした都市、或はこれに次ぐ都市でも、或る程度の疎開も行はれるわけ

朝の目と写る戦時生活—設置で機織り女子の特性がこゝで十分に活用されてゐる



左書の前頭上に炸裂する砲弾—兵隊が機織り女子を、生を戦場に戦を警戒してゐる



女子で出来る飛行機—全国の女子が轟起すれば、南の大洋を無事で飛ぶことも出来よう



新兵の落下傘—新戦場に天降る目を思つて、女子兵員は丹念に荷物を詰上げて行く

空法では一定区域への移居を命じ得ることはなつてゐますが、原則としては、この法令はなるべく発動しないで、國民の協力によつてやる建前になつてゐます。ではどういふ人たちに疎開してもらはなければならぬかといふと、建築物の疎開に伴ふ人、それから各種團體とか、絆制機關といふ施設の疎開に伴ふ人、それに一般的にいって、疎開区域内に現在居住する必要の少ない人、例へば 財産収入または仕送りによつて生活してゐる者、主人が遠くに出てゐる留守宅が東京にある等といふ人、企業準備等によつて轉居する人及びその家族といつたやうな人たちはぜひ疎開していただきたいのです。

さて、これらの人々が疎開するには、移轉先とか、荷物の運送上か、いろいろの問題もあつてゐるのですが、これに對しては國家、公共團體は お世話をします。また、轉出する町内會、隣組とか、轉出者をうけ入れる地方の縁故先などでは、出来るだけ親切にお世話をするべきですが、主眼は國民全部で防空必勝態勢を確立するためだといふことを認識して、各自が協力してこの仕事を完成するやうに心掛けて貰ふことが最も必要なことです。國家としても或る範圍に限つて、若干の移轉獎勵金を交付することになるはずですが、かゝるまでも國家の要請に應じて疎開するのだから、出来るだけ國家のご迷惑をかけずに自力でやらうといふ氣持でこの政府の親心を受けていただきたいのです。

方法で行はれるか  
疎開は防空必勝のため、移轉には積極的な協力を

疎開の實行には輸送が大きい問題になります。このため輸送の申込を受けける機關を一本にし、荷造、運送のお世話をいたしますが、轉出者も疎開は香気な平時の移轉ではなく、戦時配置のための移動だといふことを頭に置いて、できるだけ身の廻りを整理して、決戦下の輸送力を妨げないやうにしたいのです。

な、都市の疎開についてはいろいろの問題、例へば、疎開先への轉居、輸送等問題については、それ／＼必要な措置が講ぜられてゐます。いづれにしても疎開して地方にゆくことは、空襲から逃避するのではなく、積極的に戦力増強のためには國民の戦時配置なので、疎開する人も、迎へる人も、留まらぬ人も、防空準備を講究し、さらに／＼で戦力増強のための戦時配置である點を認識して、十分の協力をしたいことが第三年を必勝の年として本土を守りぬく途なのです。

地方の人々はこの際、疎開の行はれる都市に仕込んでゐる縁故者を積極的につり取り、地方への移轉者を心からお世話していただきたい。

うに、また費用等もかゝらないやうに心掛けます。また皆でこれらの人々の荷物を歸まで運ぶなど、心をあはせてお話しませう。また移轉先についても、家のない際ですから、どうなることだらうかといふ不安もありませんが、これはできるだけ、各自の準備、または縁故先で家を捜されるほか、役所方面でもできるだけお世話をし、特に地方の人々は空襲の提供運動をやつて、温かくうけ入れて上げて下さい。

（倉熊 猛志）

12

13

# 凍る泥田挑む

土地改良と  
学生の協力敢闘

今年度の食糧の大増産を目ざして全国各地に土地改良の猛運動が展開されてゐるとき、学生もまたこの重要な一翼を擔つて、凍る泥田に熱と意気の熱闘をくりひろげた。

東京文理科大学および東京高等師範学校でも十二月六日から約一ヶ月にわたつて、栃木縣下の芳賀、塩谷、那須の三郡十ヶ町村に學生を動員して、那須おろしの吹風を物ともせず、暗渠排水工事の作業をつづけてゐる。出動學生は、留守部隊の高師一年生をつぞいだした總數九百名で、各農家に分宿、河原春作學長をまじり、田中寛一博士、諸橋轡次博士等、老練に熟しながら、自らシャベルを持つて陣頭指揮に立つてゐる。

同校學生生徒は、今秋も同じ町村に招切りの勤勞作業に出て、その眞摯誠實な作業や生活態度によつて、同縣下の人々に絶大な感激をあたへた。今度の出動は地元の人々が栃木縣農會を通じて、文部省および同校に再度懇請してきて、その結果、實現をみたものであ



朝、作業前にはまづ雪をふんで、おろかに富田を引出す。

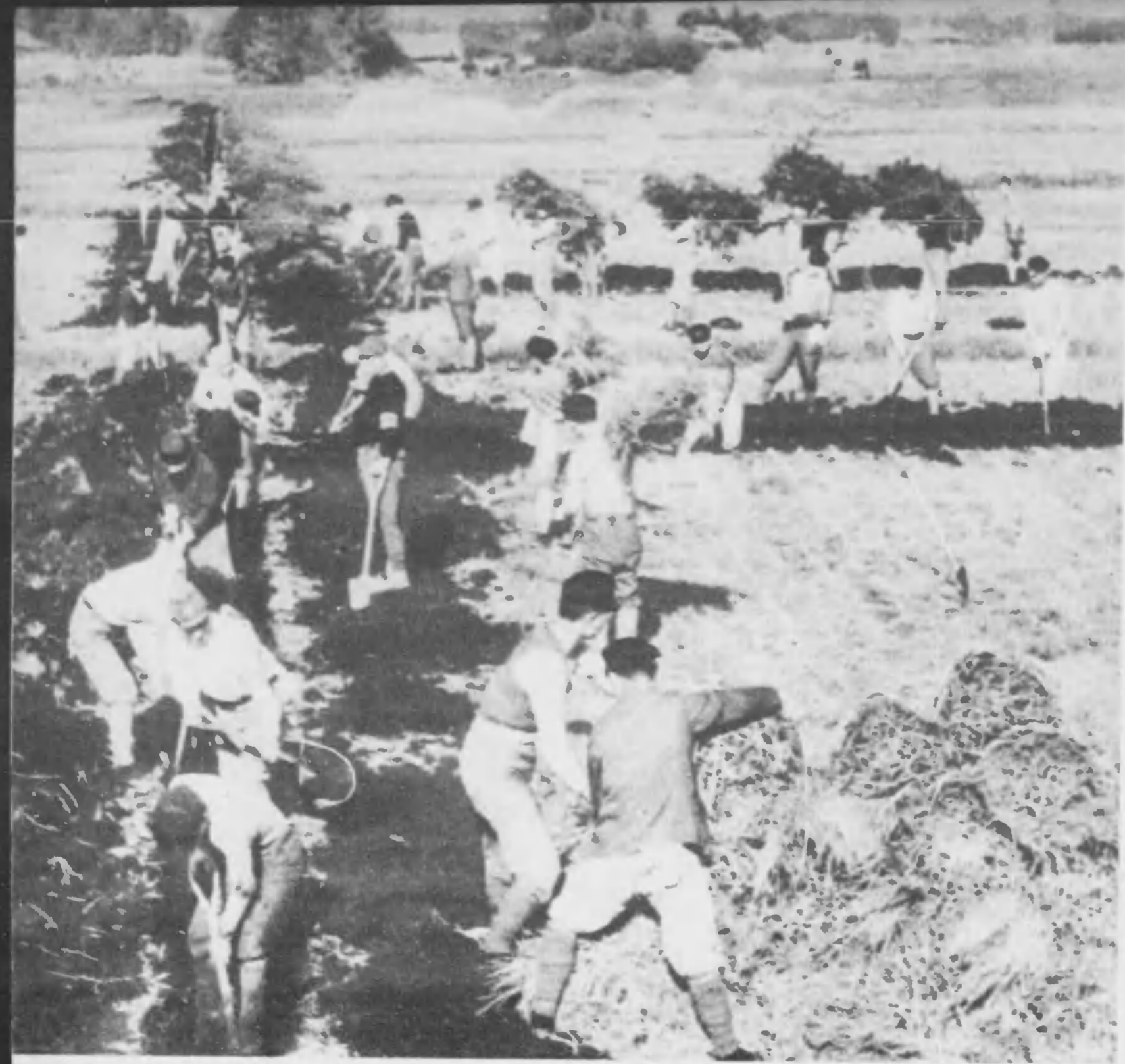
この勤勞作業は、相當長期にわたるので、學業のおくれることを防ぐため、三日に半日だけ村の寺や集會場などを利用して、授業をつづけたり、この機會を利用して村民にも新しい知識を與へるため、教授たちが、むづかしい専門知識をやさしくして、とき／＼講習會や座談會をひらく等、農村文化の向上にもつづいてゐる。



羊毛の寺小屋そのまゝ、授業は本校の講義と十二もかき取りたい。シャベルで荒れさせた手も、いまはノットにいそがしい。



早朝（朝）と足がしびれるほどの冷たさだが泥田に暗渠を掘る作業はつづけられる。



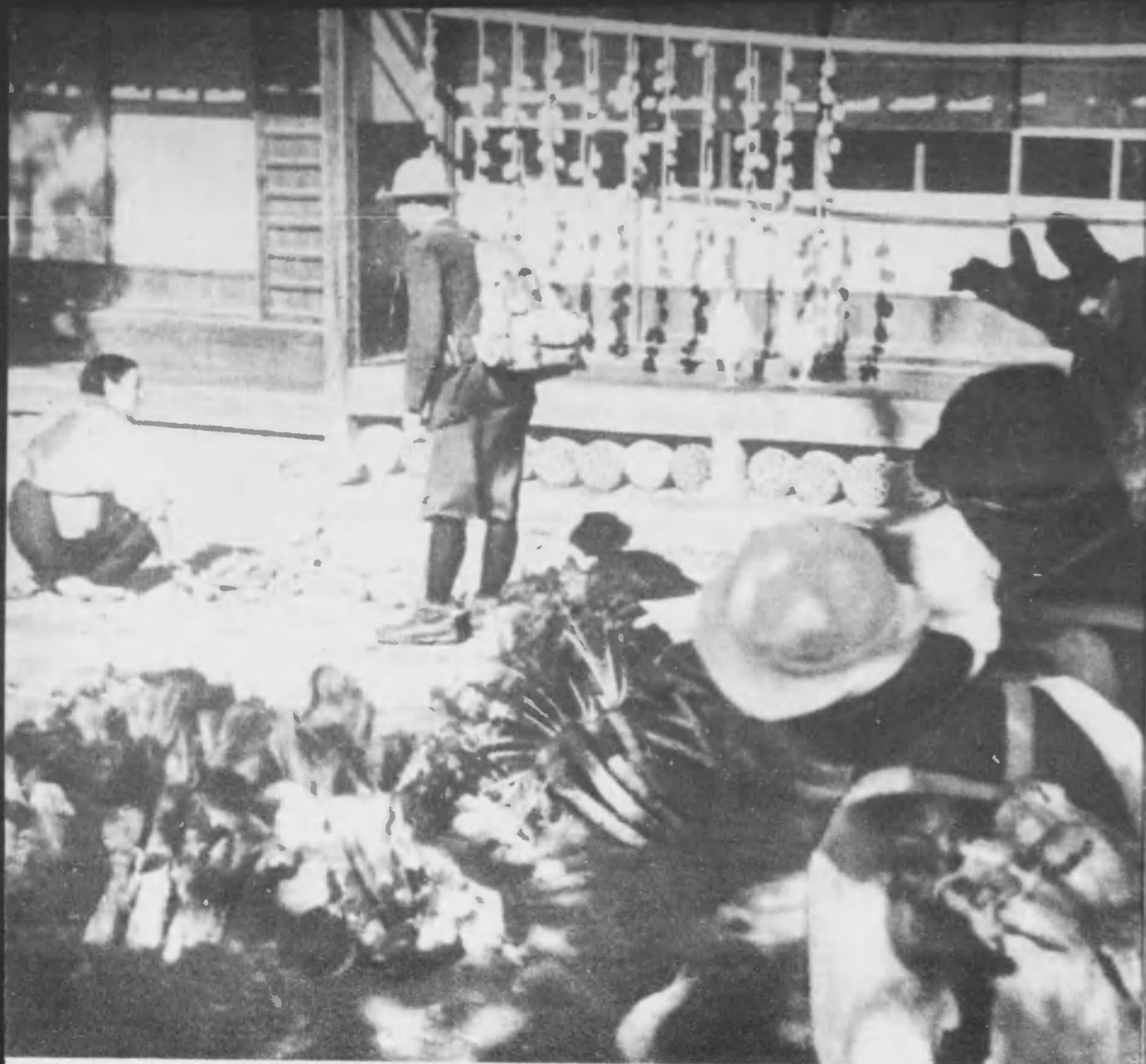
排水用の土管のかはりに、粗葉も切りとつたばかりで、體力疲定の極かつぎのときより重い。

俺たちの手で、力成るこの作業が、来年は實をむすんで、このわづかな耕地だけでも三十倍の増収がみこまれてゐるといふのだ。



一日の疲れも、あかくと燃えるふろりの火をかこむとき、のこりなく燃えてゆく。外はしん／＼と寒が降りてゐるが、みなのは心は温かくらむ。





刑事課の射入り公園の庭場に開かれた『青少年不良化防止』の移動展と『道義保護』の紙芝居

防犯の趣旨は村のすみか、にまで徹底した。運動の第一日、ハイキングに事なされた買出し部隊は、早くも農家から一斉に閉め出される



街を走る自転車と呼びとめて記名されたものには親切に住所氏名を書いてやる。盗難の予防に防犯員が活躍



目には不逞はないか、賣物みや買物めはと、商業組合員の移動班が街角をお客とめて経済調査の店を開く



けふは留守宅の一斉検査。留守の看板のやうに錠前を外からかけてある家等が先づ検査にかけられる

# うせまきぬき生くし正くる明

縣梨山 動運犯防民國戦決



或る村の常会へ縣の警察部から、係官が『防犯』の講演に出かけた時、お百姓さんの間から『警部さん、一億圓配額につくといふいまだきでも、また殺人だの強盗だのといふ犯罪があるですケ』と、真面目な質問が出たといふ話  
なるほど戦争が始つてから、國民の誰も彼も自分といふものをふりかへつてみて、俺の思ひはまた足らぬ、俺の力はまた及ばぬと、一生懸命に、たゞ勝つため骨身をけつりつめてきた。その緊張ぶりを反映して聞くも怖しいやうな犯罪は確かに少くなつてゐる。だが、その反面には物のくらしが詰るにつれて詐欺や窃盗の類ひが多くなり、また間取りやデマなどといふ経済犯、思想犯も漸くふえてゆく向きがみへるからした犯罪はたゞ被害者ばかりの問題ではなく、決戦體制を内部から切崩すお國への反逆行爲として、是が非でもそのあとを根から絶やしてしまはなければならぬ。検査當局としても悪質のものに對しては厳罰をもつて取締る一方、法令も統制もみんな勝ち抜くためのものであることを知らせて、犯罪の防止にたゆまぬ活躍を續けてはゐるもの、何しろ戦時下の國民生活はその範圍が廣いので、取締りや罰則ばかりをいくら強化してみたところで、國民全體が進んで法令を守り統制に力を合せるのでなかつたら、その目的を果すことは難かしい

十二月一日から十日まで、山梨縣ほか中部九縣の警察部と名古屋鐵道局が聯合で、各縣下一齊に繰り展げられた決戦國民防犯運動も、つまりは縣民の一人々々が忍苦の生活を共にして『正しく明るく働きぬく』決意を固め、そこにネヂ一本、米一粒でも多くを作り出して戦ふお國の力とする。さういふねらひであつたわけだ

平岡警察部長を陣頭に、わけて目ざましい活動を續けた山梨縣防犯運動本部の報告を、いまこゝに紹介して、決戦防犯に對する國民のふだんの協力のしるべとしよう



これは結  
構な賞状  
福船長さんが  
賞状に  
なつて「みな  
さんこれは勝  
ちぬくお賞、  
お賞！ 新年  
には、一萬圓  
のあたりを  
どなたが引き  
ますか？」

# 戦心師走



照準器

## 大東亞戦争漫画日誌 川石 介造



鬼船にわが病院船を沈ます



国民登録四十五歳までに延長さる



軍糧食糧補給地、常備を完全占領



カイロに突止や猿轡し會談

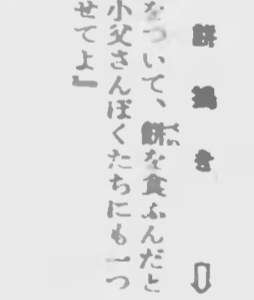


### 賞與の日

「君たち、賞與をもらひ  
にきて呉れよ」  
「兵隊さんには賞與がな  
いのに、ぼくらだけでも  
らふんでは申譯ありません。  
今日は餘計に働か  
せて下さい」

### 防空に休みなし

「はい、わちも訓練に  
加はらせていただきます」  
「餅を食べて、餅を食ふんだと  
さ、小父さんぼくらにも一っ  
つかせてよ」



### 贈問状

「兵隊さんにお正月のものを送  
るのに、おせきを願してゐるの」  
「あの暑い南方へ雪が送れると  
いいんだけどなあ」



「英史は、いちばん怖い厄、あぶり殺してくれ  
まよう」  
厄 掃 び  
センバ太郎 表



軍神の家  
三原 東 正己  
真珠灣九軍神の一人船長兵  
曹長のお父さんお母さんは  
この秋は人手もかりず、牧  
種に供出に、貴い戦果をあ  
げました

ドンクリとヨイコ  
名古屋 山田 貴治  
どんぐりのしほいタンメン  
は皮製品をつくるのに用ひ  
られ、このタンメンを除い  
た種、の大部分(八十八パー  
セント)は戦時です。これ  
で、ドンクリとヨイコがつくら  
れます。岐阜縣益田郡朝日國民  
學校のヨイコたちは今年  
百七十六俵と、ふ大量のど  
んぐりをひろつて供出し  
ました



晴漢水工事に  
女子青年も協力  
長野縣 三種橋次  
瀬田をわたしたちの  
手で外科手術するの  
です。やがて美田と  
なつて来年の秋から  
は重たい波が金いろ  
にゆれわたること  
せう

白菜供出  
宮城縣 古川友義  
さく／＼畑にしむふ  
くよかな味、多の食  
料をかざる白菜は今  
年はかなりの傑作で  
他産白菜でも高い宮  
城縣志田郡でも畑か  
らすくに包装して各  
地にどし／＼送られ  
てゐます

★表 紙  
巔尖に激水吹き、刺風は猛烈  
正に骨を刺す。しかも寸分の隙  
も見せず、徹として北の通りに  
つくわが關東軍の精銳。大東亞  
の南の涯に幾度か米英海軍の風  
歌呼する時、黙して語らず林の  
如く、日夜官職に即して訓練を  
積み、その威容を中外に誇る。  
かくて大東亞の防衛全し  
撮影 關東軍報道隊



緊めよ生活 戦費!

# 國債 債券

國債の購入に代る

を利致せましう

大蔵省

|                        |                              |   |   |  |  |  |
|------------------------|------------------------------|---|---|--|--|--|
| <p>寫眞週報<br/>(無断轉載)</p> | <p>昭和十八年十二月<br/>廿二日 印刷發行</p> | <p>情報局<br/>東京 都庁一階<br/>水田町一ノ町一<br/>印刷局<br/>東京 都庁町區大手町</p> | <p>定價<br/>▲特大的場合は<br/>其の都度御持込<br/>金より差額を申<br/>受けます</p> <p>▲外紙郵送に依<br/>る地域は送料依<br/>共一部十九錢<br/>▲送料一錢</p> <p>一部十錢<br/>(送料一錢)</p> | <p>申込所<br/>全国各地官報<br/>通報普及部<br/>書店・郵便店<br/>新聞販賣店</p> | <p>本誌採録の寫真中、<br/>署名及び提供署名<br/>を特記してあるもの<br/>は財団法人寫眞協會<br/>の製作によるもので<br/>又の製作によるもの<br/>は海軍省承認第五<br/>四二號です</p> | <p>本誌を回覧に<br/>て回覧する等、出<br/>家も有効に御用<br/>用下さい</p> <p>前懸問にも<br/>またお読みになつた<br/>ら本誌を前懸問に<br/>送りませう。送料は<br/>内地と同様で封紙<br/>るひは開封にして第<br/>二種と明記すれば<br/>一部一錢です</p> |
|------------------------|------------------------------|---|---|--|--|--|

(刊行雑誌)A4所定紙は3号大の日本